

◆ 今週のコメント

- ・ A型肝炎の報告が1例(60歳代男性)があり、本年で初めての報告です。症状は、全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝腫大、肝機能異常です。推定感染地域は国内で、感染経路は経口感染です。本市過去3年間において、平成27年は報告がありませんでしたが、平成26年は3例、平成25年は2例の報告がありました。本疾患の届出基準や届出に必要な要件等については、下記のホームページを御覧ください。
○厚生労働省「A型肝炎 感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-03.html>
- ・ 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(80歳代男性)あり、症状は発熱、菌血症です。本年の累積報告数は3例となっています。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が4例(10歳未満及び60歳代男性(2例)、60歳代女性)あります。本年の累積報告数は26例となっています。本疾患の平成27年の報告数が51例であったことから、わずか約2ヶ月で昨年の報告数の半数を超えたこととなります。今後の発生動向に注意が必要です。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

- ・ 京都市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は30.16(2,051例)となっています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 5例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 57例(肺結核 34例, その他結核 7例, 潜在性結核感染者 16例)うち喀痰塗抹陽性19例】
- ・ 四類:A型肝炎 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- ・ 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 4例【1月以降の累積報告数 26例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	30.16	2,051
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	7.20	295
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.02	83
	③ 流行性耳下腺炎	0.49	20
	④ 伝染性紅斑	0.39	16
	⑤ 突発性発しん	0.32	13
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

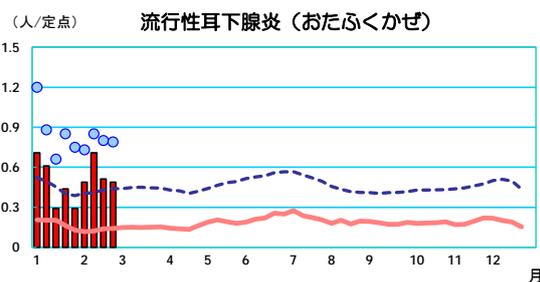
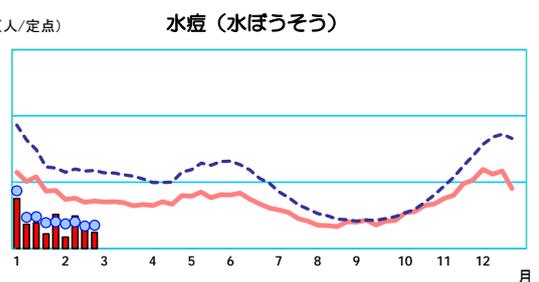
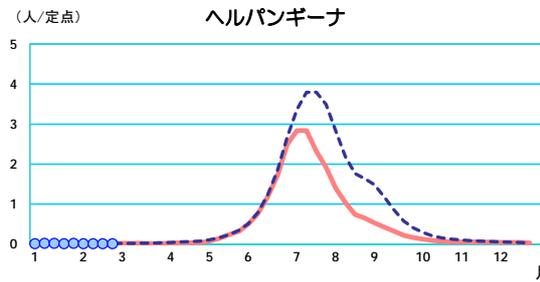
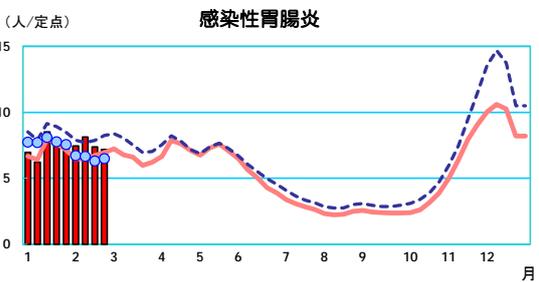
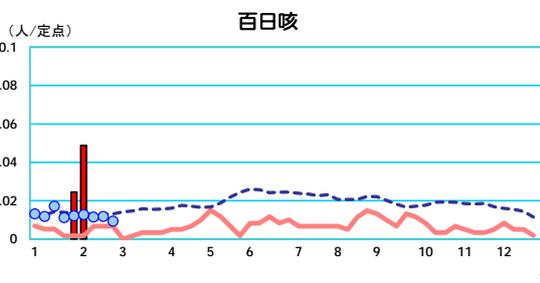
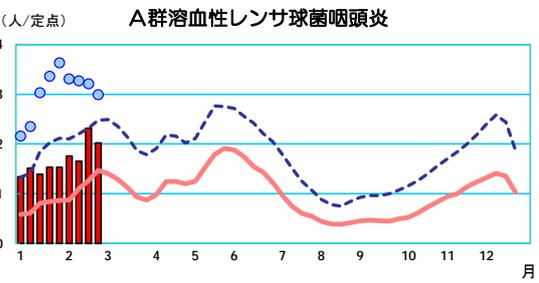
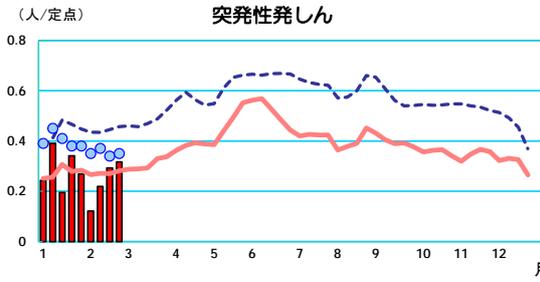
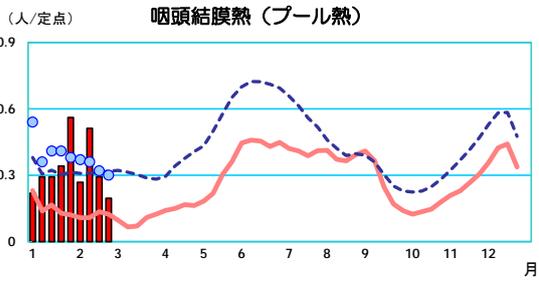
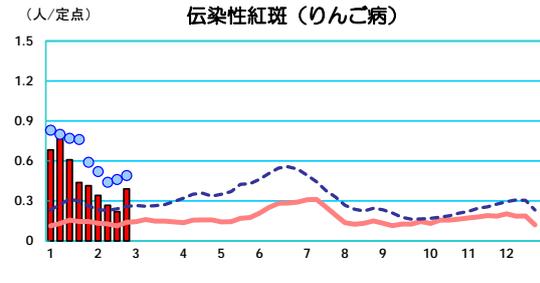
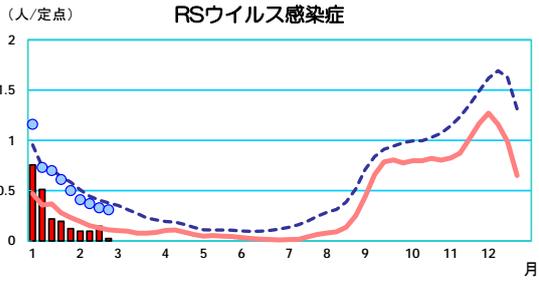
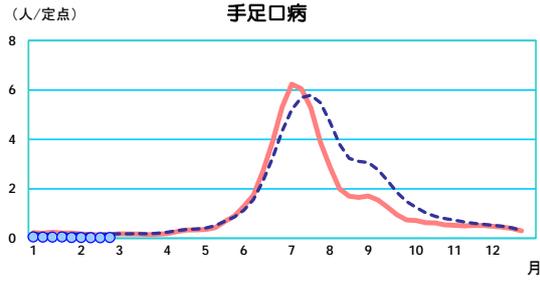
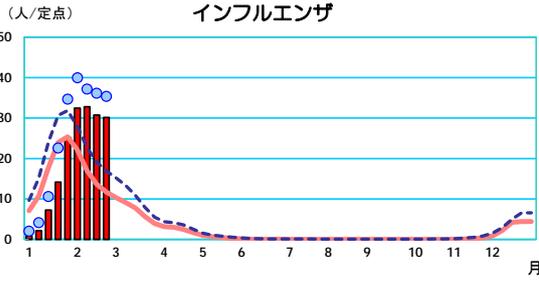
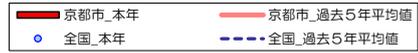
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは、平成28年3月10日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成28年）



第9週(2月29日～3月6日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市及び全国の発生動向

京都市におけるインフルエンザの定点当たり報告数は30.16(2,051例)となっています(図1)。本市は平成28年2月17日に報告数が「30」を超えたことから、インフルエンザ警報を発令しており、現在も継続中です。今シーズンは、警報レベル「30」を超える状況が4週続き、過去5シーズンと比較して最も長い期間となっています(表1)。依然、報告数が高い水準で推移していることから、発生動向に注意が必要です。全国の定点当たり報告数は35.35となり、西日本を中心に流行が大きく広がっています(図2)。近畿6府県においてもすべて警報レベルを超えており、多い順に兵庫県、大阪府、奈良県となっています。

症状及び感染経路

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが現れ、鼻水・咳などの呼吸器症状が続きます。いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いことが特徴です。小児ではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している人では肺炎を伴い重症になることがあります。

予防

他の人への感染を防ぐため、咳エチケットを心掛けましょう。また、流水・石鹸による手洗いを励行しましょう。高齢者や基礎疾患のある方、妊婦、疲労気味の方などは人混みや繁華街への外出を控えましょう。

◎ 咳エチケット ◎

- 咳・くしゃみが続くときは、マスクを着用しましょう。
- マスクを持っていないときは、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。
- 手のひらで咳やくしゃみを受け止めたときは、すぐに手を洗いましょう。



図1 京都市の定点当たり報告数の推移(2010年以降)

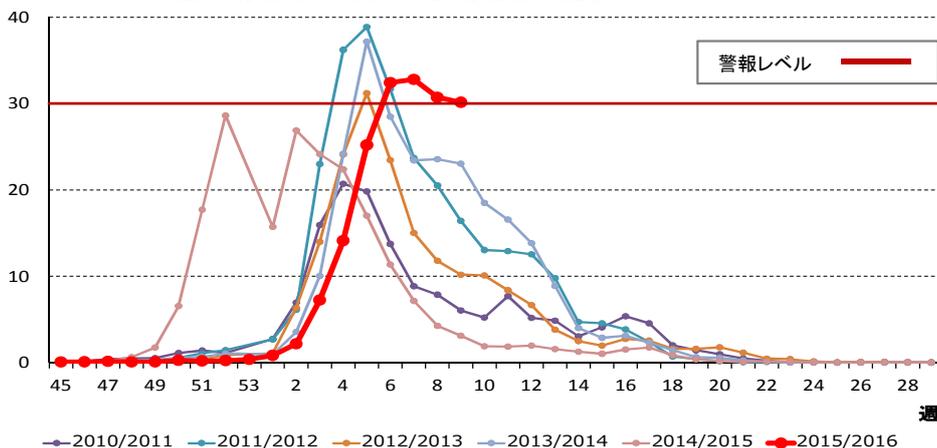
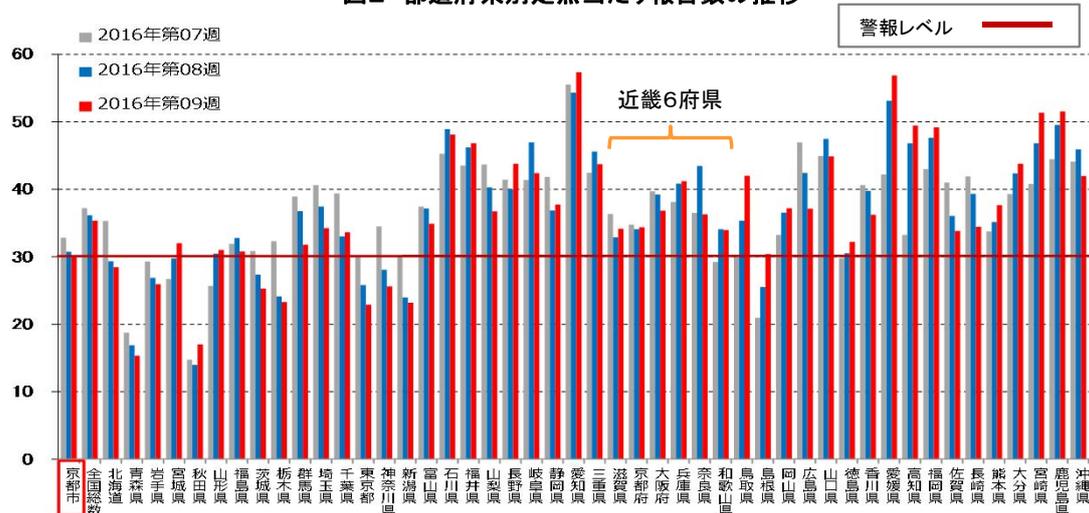


表1 京都市の流行状況(2010年以降)

シーズン	2010/2011	2011/2012	2012/2013	2013/2014	2014/2015	2015/2016
「1」を上回った週(流行開始)	第50週	第51週	第1週	第52週	第49週	第2週
「30」を上回った週		第4週	第5週	第5週		第6週
「30」を上回った期間(週)		3	1	1		4

(平成28年3月10日現在)

図2 都道府県別定点当たり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第9週

疾病,行政区別報告数

平成28年2月29日～平成28年3月6日

データ入手日:平成28年3月10日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	122	-	1	2	12	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
上京	93	-	-	6	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	219	-	-	3	59	-	-	2	-	-	-	3	-	-						
中京	67	-	-	4	14	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	64	-	-	1	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	150	1	-	40	10	1	-	-	2	-	-	4	-	2						
下京	58	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	266	-	-	1	19	-	-	1	-	-	-	-	-	-						
右京	283	-	7	11	44	2	-	4	1	-	-	-	-	-						
伏見	397	-	-	12	67	4	-	7	7	-	-	13	-	-						
西京	332	-	-	3	39	1	-	1	1	-	-	-	-	-						
京都市計	2,051	1	8	83	295	10	1	16	13	-	-	20	-	2	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	17.43	-	0.25	0.50	3.00	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-						
上京	18.60	-	-	2.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	31.29	-	-	0.75	14.75	-	-	0.50	-	-	-	0.75	-	-						
中京	13.40	-	-	1.33	4.67	0.67	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	21.33	-	-	0.50	13.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	21.43	0.25	-	10.00	2.50	0.25	-	-	0.50	-	-	1.00	-	2.00						
下京	19.33	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	53.20	-	-	0.33	6.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-						
右京	35.38	-	1.40	2.20	8.80	0.40	-	0.80	0.20	-	-	-	-	-						
伏見	36.09	-	-	1.71	9.57	0.57	-	1.00	1.00	-	-	1.86	-	-						
西京	47.43	-	-	0.75	9.75	0.25	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-						
京都市計	30.16	0.02	0.20	2.02	7.20	0.24	0.02	0.39	0.32	-	-	0.49	-	0.20	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第9週

年齢階級, 疾病別報告数

平成28年2月29日～平成28年3月6日

データ入手日:平成28年3月10日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ(※1)	年齢1	2,051	2	14	76	61	90	116	129	136	148	112	82	366	119	103	144	146	98	64	21	24	
RSウイルス感染症	年齢3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		8	-	-	1	1	2	1	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		83	-	1	5	8	11	13	10	3	9	2	4	9	-	8	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		295	-	11	40	28	23	25	25	29	17	15	9	35	2	36	-	-	-	-	-	-	-
水痘		10	-	-	2	-	1	2	-	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		16	-	-	-	1	1	1	3	3	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		13	-	5	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		20	-	-	2	-	2	4	1	3	2	2	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※1)	年齢1	30.16	0.03	0.21	1.12	0.90	1.32	1.71	1.90	2.00	2.18	1.65	1.21	5.38	1.75	1.51	2.12	2.15	1.44	0.94	0.31	0.35
RSウイルス感染症	年齢3	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.20	-	-	0.02	0.02	0.05	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2.02	-	0.02	0.12	0.20	0.27	0.32	0.24	0.07	0.22	0.05	0.10	0.22	-	0.20	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		7.20	-	0.27	0.98	0.68	0.56	0.61	0.61	0.71	0.41	0.37	0.22	0.85	0.05	0.88	-	-	-	-	-	-
水痘		0.24	-	-	0.05	-	0.02	0.05	-	0.05	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.39	-	-	-	0.02	0.02	0.02	0.07	0.07	0.05	0.07	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.32	-	0.12	0.17	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.49	-	-	0.05	-	0.05	0.10	0.02	0.07	0.05	0.05	-	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.20	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成28年第9週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成28年3月10日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	961	1,715	2,206	2,232	2,090	2,051
RSウイルス感染症	8	5	4	4	6	1
咽頭結膜熱	14	23	11	21	12	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	63	63	72	68	95	83
感染性胃腸炎	317	318	306	333	303	295
水痘	9	21	7	20	13	10
手足口病	2	-	1	-	1	1
伝染性紅斑	18	17	14	11	9	16
突発性発しん	14	11	5	9	12	13
百日咳	-	1	2	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	1	1	-	-	-
流行性耳下腺炎	18	12	20	29	21	20
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	6	1	5	1	2
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	1	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	1,428	2,194	2,650	2,732	2,563	2,500

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	14.13	25.22	32.44	32.82	30.74	30.16
RSウイルス感染症	0.20	0.12	0.10	0.10	0.15	0.02
咽頭結膜熱	0.34	0.56	0.27	0.51	0.29	0.20
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.54	1.54	1.76	1.66	2.32	2.02
感染性胃腸炎	7.73	7.76	7.46	8.12	7.39	7.20
水痘	0.22	0.51	0.17	0.49	0.32	0.24
手足口病	0.05	-	0.02	-	0.02	0.02
伝染性紅斑	0.44	0.41	0.34	0.27	0.22	0.39
突発性発しん	0.34	0.27	0.12	0.22	0.29	0.32
百日咳	-	0.02	0.05	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.07	0.02	0.02	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.44	0.29	0.49	0.71	0.51	0.49
急性出血性結膜炎	0.10	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	0.60	0.10	0.50	0.10	0.20
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	1.00	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	25.60	38.33	43.35	45.40	42.35	41.26

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。